

たいけんリスト 各日共通

工芸品名		体験	体験時間(約)	体験料
東京くみひも	とうきょうくみひも	体験 ゆびくみひもミサンガ作り	30分	1,400円
江戸刺繍	えどししゅう	体験 刺繍のブローチを作ってみよう!	60分	1,200円
東京手描友禅	とうきょうてがきゆうぜん	体験 エコバックの友禅加工	30分	1,800円
		体験 手描ハンカチの友禅加工	30分	1,500円
		体験 缶バッジの友禅加工	30分	800円
多摩織	たまおり	体験 手織りコースター	30分	1,200円
江戸つまみ簪	えどつまみかんざし	体験 やってみよう つまみ体験	30分	1,400円
江戸更紗	えどさらさ	体験 エコバック更紗染め体験	20分	1,200円
東京染小紋	とうきょうそめこもん	体験 金彩ランチョンマット	10分	1,400円
東京無地染	とうきょうむじぞめ	体験 手拭い絞り染	45分	1,400円
東京本染ゆかた・てぬぐい	とうきょうほんぞめゆかた・てぬぐい	体験 注染手拭い染め体験	30分	1,500円
東京仏壇	とうきょうぶつだん	体験 組子コースター	30分	1,000円
東京彫金	とうきょうちょうきん	体験 彫金ストラップ・キーホルダー(名入れ)	20分	700円
東京七宝	とうきょうしっぽう	体験 七宝焼き・熱さと輝きを感じて!!	30分	1,100円
江戸象牙	えどぞうげ	実演 アクセサリー製作実演	—	—
東京銀器	とうきょうぎんぎ	体験 銀製しおり	30分	1,700円
		体験 銀製バングルブレスレット	60分	2,800円
江戸切子	えどきりこ	体験 切子体験	10分	1,000円
江戸木目込人形	えどきめこみにんぎょう	体験 木目込絵馬を作ろう	30分	1,400円
江戸表具	えどひょうぐ	体験 からくり屏風(2種類)	30分	1,400円
		体験 ミニ屏風	30分	1,400円
江戸指物	えどさしもの	体験 桧八角箸作り	20分	1,000円
		体験 唐木箸の製作	90分	1,400円
		体験 水に沈む木でペンダント(大)	30分	1,100円
		体験 水に沈む木でペンダント(小)	30分	700円
東京三味線	とうきょうしゃみせん	体験 三味線の皮に絵を描こう	30分	400円
		体験 三味線の演奏体験	30分	400円
		体験 ミニ提灯文字描き入れ	40分	1,400円

注意事項

- ・多摩織、江戸表具の体験は年齢制限がありますので、ご注意ください。
- ・各体験ともご予約不要ですが、材料がなくなり次第終了とさせていただきます。
- ・体験によっては衣服が汚れる場合がございます。エプロン等を御持参ください。
- ・混雑時お並びいただく場合がございます。
- ・中学生以下の方は保護者の方とご参加ください。

「歌舞伎と手仕事」イベント第2弾開催!

- 〈会 期〉平成 8/3(金)・4(土)・5(日) ※各日二部制(完全入替)
- 〈会 場〉歌舞伎座3階/『花菱』
- 〈入場料〉4,500円(税込) ※お弁当・お茶付
- 〈内 容〉①落語 高座一席、②歌舞伎座舞台裏話、
③職人による実演&トークインタビュー、
④伝統工芸品特別展示販売
- 〈出演者〉市川右團次、中村橋吾、篠原ともえ ほか



お申込みはお電話またはイベントページまで
03-3545-6820 (歌舞伎座サービスイベント受付係)
http://kabukiza-tokyoteshigoto2.peatix.com (Peatixチケット購入ページ)

東京都伝統工芸士会

東京の伝統工芸品は、長い年月を経て東京の風土と歴史の中で育まれ、時代を超えて受け継がれた伝統的な技術・技法により作られています。伝統工芸品は、手作りの素朴な味わい、親しみやすさ、優れた機能性等が大量生産される画一的な商品に比べて、私たちの生活に豊かさや潤いを与えてくれます。

東京都伝統工芸士会は、卓越した伝統的技術・技法を有する者として、東京都知事から「東京都伝統工芸士」の認定を受けた人々を構成員としています。



東京都伝統工芸品
指定マーク

www.dentoukougei.jp



お問合せ先：公益財団法人 東京都中小企業振興公社 城東支店内
〒125-0062 東京都葛飾区青戸 7-2-5
TEL：03-5680-4631 FAX：03-5680-0710

内容は予告なしに変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

先生は伝統工芸士!

現代に活きる伝統工芸士展

2018 7.28(土)~7.29(日)

イベント特設サイト
http://taikenfes2018.peatix.com

入場パスはこちら!

保護者の皆様へ

特設サイトで入場パスをご入手の上、お越しください。
入場パスは開催日ごとに発行期間が異なりますので、ご注意ください。

7月28日(土): 6月27日(水)~7月10日(火)
7月29日(日): 7月11日(水)~7月27日(金)

〇たいけんフェス

予定枚数に達した時点で、期間内であっても発行は終了します。入場パスをお持ちでない場合、入場にお時間をいただく場合があります。その他詳細については、サイトをご確認ください。

産業貿易センター台東館7Fにて

7.28(土)~7.29(日)

A.M. 9:30 ~ P.M. 4:00 (P.M. 3:00入場終了)
A.M. 10:00 ~ P.M. 5:00 (P.M. 4:00入場終了)

主催：公益財団法人 東京都中小企業振興公社 / 東京都伝統工芸士会

後援 東京都教育委員会、台東区教育委員会、荒川区教育委員会

体験できるワークショップと実演を多数用意しております。

体験できる工芸品

- 江戸くみひも
- 江戸刺繍
- 東京無地染
- 東京本染ゆかた・てぬぐい
- 東京仏壇
- 江戸手描提灯
- 江戸更紗
- 東京染小紋
- 江戸象牙
- 東京銀器
- 江戸切子
- 江戸木目込人形
- 江戸表具
- 江戸指物
- 東京三味線
- 江戸手描提灯

写真はワークショップの完成品(予定)です



工芸の宝庫江戸・東京

東京都の
伝統工芸品

全
41
品目

つくろう!はなそう!

東京は江戸から続く工芸の宝庫です。品目はなんと合計41品目!普段はなかなか会えない「伝統工芸士」がこの日は台東館に大集合!この機会にホンモノに触れてください。

東京染小紋

江戸時代に武士から町人まで広がりました。大変細かい柄が特徴です。

金彩ランチョンマット
金糊を使ってテーブルランチョンマットを作ります。



青木 啓作 先生 五月女 利光 先生

東京無地染

「江戸紫に京鹿の子」と言われ、紫染は江戸産が最上とされ、町人に広く愛されました。

手拭い絞り染
道具類を使用して絞り、染めた後ほどきます。



近藤 良治 先生 西島 正樹 先生

東京本染ゆかた・てぬぐい

憩いの場である銭湯で、「粋」を尊ぶ江戸っ子の湯上り用の衣服として発展していきました。

注染手拭い染め体験
世界でも類を見ない染色技法の「注染」で手拭いを染めていきます。



村井 光寿 先生

東京仏壇

江戸期からの伝統技法により、黒檀・紫檀など堅い木から作り出す簡素で品位のある仏壇です。

組子コースター
唐木材を組んですてきなコースターに仕上げます。



岩田 芳樹 先生



村山大島紬 わらやまおしまつむぎ
村山大島紬の特徴は、板締め染色という染色方法で民芸の地風を持っています。



江戸簾 えどすだれ
江戸簾の特色は、竹、萩、御業、蒲、よしなどの天然素材の味わいをそのまま活かして作られます。



江戸漆器 えどしっき
私たちの暮らしの中で、古くから使われ続けてきた漆器。漆塗りのお椀や重箱などが代表です。



江戸鼈甲 えどべっこう
ウミガメ(タイマイ)の甲羅で和装品や装飾品を作製します。深い光沢があります。



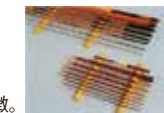
本場黄八丈 ほんばきはちじょう
八丈島の草木による天然染料からうまれた「黄・樺・黒」の三色を主体とする「染め」と「織り」が特徴。



東京額縁 とうきょうがくぶち
古来の額縁の原型は、神社仏閣に名を彫り込んだ扁額と言われています。



江戸刷毛 えどはけ
馬、鹿、山羊などの獣毛やシュロなどの植物繊維を使って作られます。



江戸和竿 えどわざお
何本かの異なる竹(布袋竹、矢竹、淡竹、真竹)を継ぎ合わせ、一本にした「継竿」の釣竿です。



江戸衣裳着人形 えどいしょうぎにんぎょう
わらなどの胴体に顔や手足を付け、衣裳を着せつけるもので、百以上の工程を、丹念に仕上げていきます。

右も左も伝統工芸士

今回出展の工芸品

20

品目

出展者以外の 東京都の工芸品

21

品目



東京彫金 とうきょうてんぎん
タガネひとつで丹念に様々な模様を彫り、独特な着色方法で仕上げられます。

彫金ストラップ・キーホルダー(名入れ)
金づちとタガネを使って、ネーム(名前)などを点で打刻します。

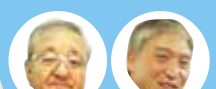


中島 一華 先生



江戸切子 えどきりこ
江戸切子は、日本橋大伝馬町の加賀屋久兵衛が、ガラス表面に彫刻をしたのが始まりとされます。

切子体験
小皿に簡単なカット加工をします。



林 克美 先生 門脇 建男 先生



東京三味線 とうきょうさんまいせん
江戸時代に歌舞伎の長唄・義太夫などの邦楽の流行とともに三味線も発展しました。

唐木箸、ペンダントの製作
三味線演奏体験
三味線の材料(黒檀・紫檀など)を磨いてつやを出し作品を作ります。



伊東 孝夫 先生 高橋 定裕 先生 向山 正成 先生



東京七宝 とうきょうしちほう
東京七宝の祖である平田彦四朗は幕府お抱えの七宝師として名を残し、その技は門外不出でした。

七宝焼き・熱さと輝きを感じて!!
七宝釉薬を銀箔の上に盛り、色鮮やかなガラスの粒を乗せ焼成します。



坂森 登 先生 畠山 弘 先生



江戸木目込人形 えどぎもこにんぎょう
木目込人形は桐型で原型を作り、布地を木目込で衣裳を着せたように作る人形です。

木目込絵馬を作ろう
可愛いうさぎを木目込処理して板に貼ります。



柿沼 正志 先生



江戸手描提灯 えどてがきちようちん
特徴のある提灯文字は「江戸文字」と言われ、神社仏閣に貼る千社札は提灯屋が描いていました。

ミニ提灯文字描き入れ
ミニ提灯に文字を描き入れます。



村田 修一 先生



江戸象牙 えどぞうげ
発祥は古代エジプト。奈良時代に中国から日本に伝来。象牙から細密で美しい工芸品を彫り出します。

アクセサリー製作実演
手を切ることがあるので体験は出来ません。実演のみになります。



片山 紀史夫 先生



江戸表具 えどひょうぐ
書画が町人に身近となり、掛け軸などの需要が増え江戸表具は発展しました。

からくり屏風(2種類)、ミニ屏風
組立寸法カット加工した色々な紙を貼り合わせて手作り仕上げます。



我妻 雅之 先生 石井 弘芳 先生 櫻井 潔 先生 清水 達也 先生
春原 敏雄 先生 田中 武久 先生 田中 正武 先生 古牧 平市 先生



東京銀器 とうきょうぎんぎ
銀(しろがね)師と呼ばれた銀器職人や飾り職人の技術を受け継ぎ、現在に至ったものが東京銀器です。

銀製しおり・バングルブレスレット
金づちを使って文様や刻印の打込み、成形をします。その後、磨き上げて仕上げます。



泉 健一郎 先生 福士 豊二 先生



江戸指物 えどさしもの
木の美しさを活かし、釘を使わずに、見えない所にも技を施し、極めて堅牢に作られます。

桧八角箸作り
四角く作られた桧の箸を八角に仕上げます。



佐藤 進 先生 渡邊 彰 先生 渡辺 光 先生

江戸押絵羽子板

綿を布でくるんで、立体的でさまざまな絵柄に仕上げたものが「押絵羽子板」です。



江戸木彫刻

仏教とともに伝来し、現在は寺院の装飾や欄間などに見られます。木から命を彫り出します。



江戸からかみ

襖や屏風などに使われる加飾紙です。木版摺りや型紙による捺染、刷毛引き等多くの技法で作られます。



江戸筆

筆の穂先には山羊毛・馬毛・豚毛・たぬき毛・いたち毛・猫毛などが使われます。



東京琴

室町時代末期に始まり、数々の改良を重ねて東京琴に至りました。桐、紅木、紫檀などが使われます。



東京洋傘

1854年、ペリーが日米和親条約締結で浦賀に来航した際、上陸した乗組員が持っていた傘が注目を浴びました。



えどかつちゅう **江戸甲冑**
身を守るための鎧兜を飾る習わしの中に、わが子が健全に育つよう祈りが込められています。



えどもくはなが **江戸木版画**
絵師が原画を和紙に墨一色で描き、彫師が原画を貼った板に小刀で彫り、摺師がばれんでこすって仕上げます。



えどきよう **東京手植ブラシ**
引き線と呼ばれるステンレス線により、連続して植毛されているため、機械植えに比べてとても丈夫です。



えどきよう **東京打刃物**
武士階級の台頭によって生まれた刀鍛冶の技術が源流となっています。



えどきよう **東京籐工芸**
籐は引っ張る力に対して非常に強くしなやかなので、竹にはない「巻く」「結ぶ」加工などができます。



えどがらす **江戸硝子**
18世紀始めに日本橋で眼鏡や鏡、浅草で風鈴など、江戸硝子製造が始まりました。

